

顔が見える。声が聞こえる。人をつなぐ。渋谷区からのお便りです。

平成31年
(2019年) | 月 | 日

No.1401



発行 | 渋谷区
編集 | 広報コミュニケーション課
所在地 | 〒150-8010 渋谷1-18-21
電話 | 03-3463-1211 (代表)
HP | www.city.shibuya.tokyo.jp/
Twitter | @city_shibuya
Facebook | @shibuya.city
Instagram | city_shibuya_official



「シティ・プライド」とスポーツ応援文化を育もう。
渋谷区とフェンシング界が
目指す新しい未来とは。

(左) 日本フェンシング協会会長 太田雄貴さん (右) 長谷部健区長

2 | 渋谷区もフェンシング界も、
3 | 新たな変革の一年に。

4 | 渋谷区役所は新しい庁舎へ
5 | 移転します ほか

6 | 1月17日は防災点検の日
8 | ほか

9 | 暮らしの情報
11 |

★渋谷区役所は1月15日に、新しい庁舎(宇田川町1-1)へ移転します。



渋谷区もフェンシング界

渋谷のラジオで
出張インタビュー



2019年新春、若くして日本フェンシング協会会長として活躍する太田



スポーツ界は「メダル至上主義」から脱却して、「感動体験」を提供していかなければいけないと思います。

公益社団法人日本フェンシング協会会長。北京2008オリンピック競技大会男子フルーレ個人で銀メダルを獲得し、日本フェンシング界初のオリンピックメダリストとなる。ロンドン2012オリンピック競技大会のフルーレ団体では銀メダル、2015年世界選手権では日本人初の金メダル獲得。2017年、現役引退後に異例の若さで日本フェンシング協会会長に就任、数々の改革を仕掛けている。渋谷区在住。

おおた ゆうき
日本フェンシング協会会長 太田 雄貴さん

長谷部：あけましておめでとうございます。

太田：おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

最初に、お二人の新年の抱負を教えてください。

長谷部：まずは太田さんにお伺いしたいですね。2017年に日本フェンシング協会の会長に就任されてから、もう1年以上経ちましたね。

太田：はい。2019年は、日本フェンシング協会を「あの協会は本当に素晴らしい」と世界中から言ってもらえるような競技団体にしていくのが目標です。私は会長就任当初から、スポーツ界は「メダル至上主義」ではなく「感動体験の提供」に主眼を置くべきだ、と繰り返し言っています。もちろん選手には、引き続き存分に実力を発揮してもらいつつ、運営側では、選手の勝ち負けにかかわらずお客様に楽しんでいただけるような大会運営を行うべく、努力していきます。長谷部区長の2019年の目標はなんですか？

長谷部：大きなビジョンの話になってしまいますが、渋谷区を「『シティ・プライド』がたくさん集まる街」にしていきたいという目標があります。渋谷には「何かがある」と思ってもらえる、住んでいると「格好いい」と言ってもらえる、そういう街になったらいいな、と。そのために、住んでいる人、働いている人、遊びに来る人など、渋谷に集まる全員を区の関係者だと意識して、まちづくりや区政運営を加速させていかなければと思っています。

太田さんは、日本でスポーツを応援する文化を育てようとしていますよね。

太田：そうですね。私は先ほど「感動体験の提供」と言いましたが、これは、どのようにスポーツを楽しむか、応援するか、ということにつながっていきます。いざ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されて試合を観に行った時に、どうやって応援したらいいのか分からずにキョロキョロする。それではもったいない。

長谷部：特にサッカーの試合はホームゲームでサポーターが声援を送ると圧倒的に有利と言われていますよね。

太田：そうです。子どもたちが小さい頃から「ホンモノ」に触れられる機会を増やさないと、応援文化は根付きません。そのため、日本フェンシング協会では、プロのフェンサー(選手)が学校を訪問し、子どもたちに実際に試合を観てもらおう取り組みをしています。みんな大声で応援してくれますよ。

長谷部：競技人口も増えそうですね。国内の競技人口は6,500人くらいということですが、渋谷区の区立小中学校に通う児童・生徒を合わせると8,000人くらいですから、みんなが仮に全員フェンシングをしたら、太田さんのようなメダリストが生まれるかもしれない。

太田：そうですね。強化選手の育成と楽しむ文化の醸成ではそれぞれ戦略が異なりますが、競技人口を増やすことは大前提ですね。

フェンシングでは、2018年の全日本選手権で太田さんは大々的な改革をされましたね。

太田：私が会長に就任して初めて迎えた2017年の全日本選手権では、メインピスト(競技場)に大型のLEDディスプレイを設置し、ポイント獲得のたびにディスプレイを光らせて試合の流れを分かりやすくしたことが注目されました。2018年はさらにエンターテインメント性を重視して、主にミュージカル公演で利用されてきた東京グローブ座(新宿区)を会場に選びました。そして、これまで1,000円だった観覧料を席のランクごとに2,500~5,500円に設定したのですが、全てのチケットが40時間で完売しました。今は「モノ」よりも「体験」に価値を見いだす人が増えてきていますから、観せ方にこだわった点がお客様に評価されたのだと思います。

長谷部：アプローチ方法を変えることは本当に重要ですね。私は「greenbird(グリーンバード)」というごみ拾いのNPO法人をやっていたんですが、当時、ボランティアは「ハードルが高い」「高潔」というイメージが強く、敬遠されがちなのが非常にもったいないとっていて。だから「気の合う仲間と楽しもう」「おしゃれしてきて

渋谷区の番組を放送中です

ラジオ しぶや区ニュース (10分間)
月~木 11:00/16:00/21:50
「しぶや区ニュース」の情報を発信します。

渋谷の星 (45分間)
火 11:10
渋谷区で活躍する人たちが登場します。

渋谷のくらし (30分間)
火 16:20
地域の催しなどの様子を伝えます。

ラジオ しぶや区ニュース(区長の部屋ほか) (10分間)
金 11:00/17:00/19:50
長谷部健 渋谷区長が出演します(ラジオしぶや区ニュースの内容になる場合あり)。

も、新たな変革の一年に。

雄貴さんと長谷部健区長が、スポーツ界や渋谷区の未来について語り合いました。

ね]なんて呼び掛けることで、参加のハードルを低くしていこうと。そうしたら、若い参加者がどんどん増えました。

太田：スポーツもボランティアも、実は「機会があったらやってみたい」という人は意外と多いですね。でも、スポーツ界の多くの団体がそうした層にアプローチしきれていなかった。昨年、日本フェンシング協会でも、新しい取り組みとして「兼業・副業限定」でスタッフを募集したのですが、おかげさまで1,127件も応募がありました。「スポーツに関わりたい」「なんならボランティアでも良い」という人たちとマッチングが図れたんです。

長谷部：それは素晴らしいですね。他の業種から人が入ってくると、新鮮な意見を取り入れることもできますよね。区でもそこは意識していて、外部から人材を入れていきますし、区役所職員を都庁など外部の団体に出向させて、経験や知識を持ち帰ってもらうこともあります。

——太田さんは若くして組織のトップに立ち、さまざまな新しい取り組みを実行されていますが、どのようにリーダーシップを発揮しているのでしょうか？

長谷部：そもそも、太田さんはどの協会を見ても一番若い会長さんですよ。

太田：「(年齢を)倍にしても中堅」と言われています(笑)。就任時は、フェンシングは全日本選手権はおろかオリンピックの会場さえもいっばいにできない、という状況でした。だったら、小さな成功体験を積み重ねていくしかない。できるところから素早く決断し、確実に変えていくことが大事だと思います。あとは、目線を高く持つこと。「フェンシングはどうせマイナー競技」と自信を喪失していたら何も始まりません。

長谷部：それは大事ですね。私も区長就任当初から「『ロンドン・パリ・ニューヨーク・渋谷区』と言われる街にする」と言ってきましたが、それで職員の意識やモチベーションが高まってきたのではないかと考えています。

——太田さんは渋谷区にお住まいとのことですが、区の取り組みで面白いと思うものはありますか？

太田：率先して「ダイバーシティ(多様性)の尊重」を掲げているのは、やっぱり素晴らしいですね。でも、だからこそ難しいことも多いと思います。長谷部区長は「自由」について真剣に考えている区長さんだと思いますが、多様な人が集まる区だからこそ、「自由」と「節度」のバランスは難しいですね。例えば、昨年はハロウィーンの騒動がありました。

長谷部：「寛容性」は渋谷区の良さだから残していきたいけど、あれはさすがに度が過ぎていました。また、昨年のハロウィーンに関しては悪いところばかり取り上げられましたが、私が朝5時くらいに駅周辺に行くと、すでに清掃ボランティアの人たちが大勢集まっていて、朝の8時には普通の渋谷に戻り、そしてお昼には1年で一番きれいな渋谷になったんですよ。

太田：すごいですね。世界でも類を見ない活動だと思います。

長谷部：ただ、彼らの善意に甘え続けていいわけではない。ハロウィーンの課題を乗り越えた時に区としてより成長できると思っているので、今年は会議体を組成してしっかり対策を考えていきます。太田さんのように、「渋谷区に住みたい」と引っ越して来てくれた方たちや、昔から住んでいる方たちがずっと「シティ・プライド」を持って住み続けられるように、もっと努力しなければいけない。そのためには、子育てしやすい環境づくり、教育や福祉制度の改革など、課題がたくさんありますね。


太田：2019年もやるべきことが山積みですね。

長谷部：そうですね。お互いに頑張っていきましょう。これからもよろしくお願ひします。

太田：こちらこそよろしくお願ひします。今日はありがとうございました！



はせべけん
渋谷区長 長谷部 健

 太田雄貴さんと長谷部区長の対談は1月8・15日「渋谷の星」で放送します。

問広報コミュニケーション課広報広聴係 (☎3463-1287 FAX 5458-4920)

 とは？

「しぶや区ニュース」では毎号、「渋谷のラジオ」と連動したページを掲載。「しぶや区ニュース」と「渋谷のラジオ」が連携して、人と人のつながりが広がる紙面を届けています。

 渋谷のラジオ

周波数：

87.6MHz FM ☆公式アプリでも聴取可能



所在地 | 渋谷3-22-11 サンクスプライムビル1階 TEL | 6712-6876

FAX | 5778-9620 E-MAIL | info@shiburadi.com HP | shiburadi.com/